

様式第 3 号（第 10 条関係）

会 議 録

会議の名称	令和 6 年度第 3 回白岡市児童福祉審議会
開 催 日	令和 6 年 1 2 月 7 日（土）
開催時間	午前 1 0 時 0 0 分 から 午前 1 1 時 5 0 分 まで
開催場所	保健福祉総合センターはぴすしらおか 2 階 会議室 3 ・ 4 ・ 5
会長の氏名	西村恵子
出席者（出席委員） の氏名・出席者数	西村恵子、青木春乃、関山典央、尾崎正浩、小松武志、藤本典子、鈴木きよ子、 市川憲子、大高雅史、齋藤俊明、寺井堅一、木村敏博 1 2 人
欠席者（欠席委員） の氏名・欠席者数	猪野塚将、山口宜子、深山由香 3 人
説明員の職・氏名	子育て支援課 主幹 長谷川研・主査 田中秀幸 子ども保育課 課長補佐 大久保修一・主査 廣辺和隆
事務局職員 の職・氏名	健康福祉部長 神田光雄 子育て支援課 課長 本村剛士・主幹 長谷川研・主査 田中秀幸 主査 片岡有里江・主査 米田澄恵 主任 山口沙也・主任 都野美希 こども保育課 課長 小島浩・課長補佐 大久保修一 主査 廣辺和隆
その他 会議出席者 の職・氏名	株式会社まち研 浜田守、本間洋美
会議次第	1 開 会 2 挨 拶 3 議 題 (1) 白岡市こども計画（素案）について (2) その他 4 閉 会

配布資料	・令和6年度第3回白岡市児童福祉審議会次第 ・白岡市こども計画（素案） ・諮問書 ・事前質問に対する回答
議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
課長	開会宣言。
会長	挨拶。
課長	会議資料の確認。
	会長に議長として議事の進行をお願いする。
議長	議事の進行を宣する。
	（1）白岡市こども計画（素案）について
議長	本日の議題「(1) 白岡市こども計画（素案）について」の件を諮問事項とすることを告げ、事務局に説明を求める。
事務局	資料に基づき説明をする。
議長	委員からの事前質問について、事務局に説明を求める。
事務局	資料に基づき説明をする。
議長	質疑がないか、委員に諮る。
A委員	P105 一時預かり事業については極端に数値が減っていますが、幼稚園が認定こども園になると、事業の対象となる子どもの数は減らないのではないかと思います。どうか。
事務局	認定こども園については、保育認定であるか教育認定であるかで、パターンが変わってくる。⑥一時預かり事業（幼稚園在園児）での一時預かりは、保育園に入れなかったのが現在幼稚園の預かり保育を利用しているという子どもが多く、今後、幼稚園が認定こども園になっていくことで、この数は減っていくものと考えている。このように認定こども園になっていくことで、どのくらいの子どものが、保育認定となるか、教育認定となるか、予測を立てて数値を記載している。
A委員	総数では変わらないということで、実際に認定こども園になるということは、簡単に進むものなのか。規模や園庭の広さ、保育の体制などは大丈夫か。

事務局	認定こども園には、幼稚園型、幼保連携型などの種類がある。幼稚園型の認定こども園を想定しており、受け入れる子どもについてはこれまでとは変わりなく、教育認定、保育認定ということになるが、幼稚園と同じ施設の内容で、大きな変更は特に必要ないものとする。これまで幼稚園とお話しをさせていただいている中で、今後そのように進むことを期待している。
B委員	事前質問事項の2～11については、内容を盛らずに、また、わかりやすく表現してほしいということの趣旨である。3は「子育て支援センター職員が」、5は「市内保育園等」などの文言を入れていただきたい。7の女性の参画拡大や11のひきこもり支援については、単にチラシ配布しているだけなので普及啓発というのは、言い過ぎではないか。 次に、1の質問について、先ほどの回答での参考資料（進行管理資料）にあったが、たくさん事業があり、「計画どおり進んでいる」という評価の欄があり、これが成果指標にあってもよいのではないか。P114に成果指標があるが、この項目でもいいと思うが、たくさんある事業がこの成果指標につながっていくのか心配である。保育所や学童保育の待機児童数を0にするというのは明確でわかりやすい。例えば、事業実施数や事業の評価「計画どおりに進んでいる」の割合などを入れた方が達成状況が明確になると思われる。さらに、例えば手当・医療費等の金額を入れてもいいのではないか。進行管理の点検・評価については、児童福祉審議会が行うことになっているので、この会議で重い責任があると思っている。
事務局	ご意見の内容については、今後、検討して修正します。市民にわかりやすい計画にしたいと考えておりますので、用語集などもつける予定です。また、各事業を掲載したほうが良いというご意見もありますが、5年間の計画で事業が変更・中止されたりすることもありますので、各事業については審議会にご提示している進行管理の資料で点検していただきたいと考えている。事業数の記載なども検討する。
C委員	P80について、幼児教育の振興や施設の整備について記載があるが、計画に入るのは、今後も市がこのように考えているととらえるものである。もう1点、幼児教育の無償化のことが記載されているが、これは国の事業なので、白岡市の計画に記載すべきなのか疑問に思う。次に、保育所、幼稚園、小学校との連携強化

	について、先日、保育所の研修があり、幼稚園からも参加させてもらいましたが、大変よかったので、こうした研修なども計画に盛り込んでほしい。こどもを預かる機関で幅広く連携していきたい。
事務局	施設整備については、教育総務課にご意見を伝える。幼児教育無償化の記載内容については検討し、研修会は毎年開催したいと考えている。なお、保育所等代表者連絡会を行っているが、今後も定期的な開催を目指したい。
C委員	小学校とつながりを持ちたいと考えておりますので、願います。
議長	質疑がないか、委員に諮る。
D委員	外国人の子どもに対する施策はありがたいと思っている。日本語指導の配置は県の予算でやってはいるが限界もある。できれば、市内の国際協力的なボランティアさんなどの協力、支援、相談などをお願いできたらいいと思っている。気軽に相談できるような、教員以外の支援がほしい。不登校や障がい児の問題なども、教育指導課だけでなく、市全体で支援することをお願いしたい。また、最近、保護者から防犯対策として警備員の配置などの要望が出ており、そういったことへの対策もお願いしたい。一步でも進んだ計画にしていきたい。
A委員	P70 についてですが、私は放課後子ども教室の支援メンバーをしており、放課後子ども教室の担当は生涯学習課、学童保育はこども保育課である。また、放課後子ども教室はボランティアですが、安全管理もこちらで行っている。親御さんへの引き渡しもしている。同じ子どもを預かることなのに、ひとつの部署でできないのか、と思う。放課後子ども教室では、ボランティアがレクリエーションや工作をやったりしますが、生涯学習課にはノウハウがない。子ども中心にやるのならば、こども保育課が一つにまとめてやるなどしてはどうか。
事務局	生涯学習課にもご意見を伝える。
E委員	計画案には新規事業もたくさん記載されている。財政的に厳しい中、裏付けがないと実行されないと思う、そのあたりはどうなのか。また、今後、進行状況の報告もあるといいと思う。
事務局	予算的なことでは、大きいものとしては新設保育所の設置費用になると思われます。その他、新規であげているものがあるが、今回、こども計画となり、少子化対策やこども・若者支援の項目が入り、そのため、従来実施していた事業であってこれまでの計画に入っていなかったものを新規として計画に位置付けた関

	係で多くなっている。予算としては継続したものが多くとなっている。
D委員	B委員の事前質問の13について、目標像「頑張（つく）る」については、あまり好ましくありません。頑張らなくても楽しんで未来を創造するようなものが望ましいと思われる。
C委員	ひらがなで「つくる」ではどうか。または、「支え合う」など。今回、計画の練り直しなので、変えてもいいのではないかと。日頃から、保護者に「頑張りすぎないでいいよ」と言っているため、もう少しやわらかい表現がいいと思われる。
事務局	「みんなで頑張る」という表記は、最近では馴染まないものかもしれないので、漢字を取って、ひらがなで「つくる」ではどうか。そのように対応させていただきたいと思う。
議長	質疑がないか委員に諮る。
F委員	P T Aの会員が減少しており、課題解決のためにいろいろ取り組んでいる。こどものためにということが薄れてしまい、特にコロナでコミュニティがなくなり、それを再構築することも難しくなってしまった。そこで、ラーニングコモンズ、学校ごとに子どもたちが集まって話し合いをしたりする場所、教室だけではない場所を作れたらいいと思って、取り組んでいるところです。P T Aの魅力発信も考えています。「つくる」というと、コミュニティのつながりの中でみんなが連携してやっていくのであれば、個人的には「つむぐ」という言葉がいいと思う。
事務局	「つくる」「つむぐ」「支え合う」「楽しみながら」いろいろご意見が出ました。後ほど、委員のみなさんにアンケートをお配りして、どれがいいかご意見をうかがうようにしたいと思う。この場で決めるのは難しいので、次回の2月の児童福祉審議会で発表したいと考えている。
議長	質疑がないか委員に諮る。 (質疑なし)
	(2) その他
議長	次に、「(2) その他」の件を議題とすることを告げ、事務局に説明を求める。
事務局	パブコメの実施、今回の報酬、虐待防止キャンペーン啓発品について説明する。
議長	質疑がないか、委員に諮る。 (質疑なし)

議長	議事全体終了の旨を述べ、委員の協力に対し謝し、議長を降りる。
事務局	円滑な議事遂行に謝し、閉会を宣した。

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。

年 月 日